

算 数

(2025年度)

《 注 意 》

1. 試験開始の合図があるまでは、問題用紙を開けてはいけません。
2. 問題（解答）用紙は3枚あります。試験開始の合図があったら、まず、問題（解答）用紙がそろっているかを確認し、次に、すべての問題（解答）用紙に「受験番号」「氏名」「整理番号」を記入しなさい。
3. 試験中は、試験監督の指示に従いなさい。
4. 試験中に、まわりを見るなどの行動をすると、不正行為とみなすことがあります。疑われるような行動をとってはいけません。
5. 試験終了の合図があったら、ただちに筆記用具を置きなさい。
6. 試験終了後、試験監督の指示に従い、解答用紙は書いてある方を表にして、上から、（その1）（その2）（その3）の順に重ね、全体を一緒に裏返して置きなさい。
7. 試験終了後、書きこみを行うと不正行為とみなします。

-
8. 問題（解答）用紙の余白は計算などに使ってかまいません。ただし、答えを求めるのに必要な図・式・計算・考えなどは、枠内わくないに書きなさい。
 9. 円周率の値あたいを用いるときは、3.14として計算しなさい。

2025年度
算 数
(その1)

受験番号	
氏 名	

1 以下の問いに答えなさい。

(1) 1辺の長さが1 cmの正三角形Aを、1辺の長さが3 cmの正三角形Bにそってすべらないように転がします。図1の位置から矢印の向きに転がしていったところ、AはBの周りを1周してもとの位置にもどりました。点Pの描いた曲線の長さを求めなさい。

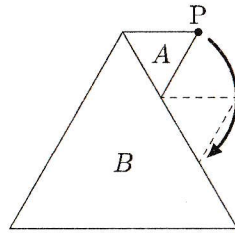
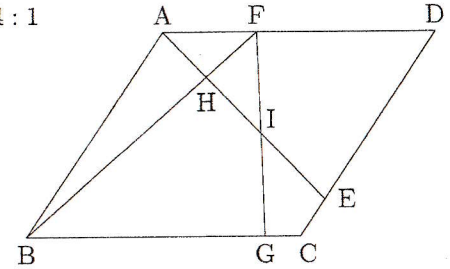


図1

2 右の図において四角形ABCDは平行四辺形であり、

AH = 2 cm, HI = IE = 3 cm, DE : EC = 4 : 1
です。ただし、図は正確とは限りません。



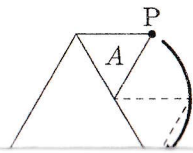
このとき、AF : BCを最も簡単な整数の比で答えなさい。また、四角形BGIHの面積は四角形ABCDの面積の何倍か答えなさい。

必要ならば、下の図は自由に用いてかまいません。

必要ならば、下の図は自由に用いてかまいません。

答 cm

(2) 1辺の長さが1 cmの正三角形Aを、1辺の長さが50 cmの正三角形Cにそってすべらないように転がします。図2の位置から矢印の向きに転



がしていったところ、AはCの周りを1周してもとの位置にもどりました。点Pの描いた曲線の長さを求めなさい。

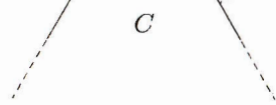
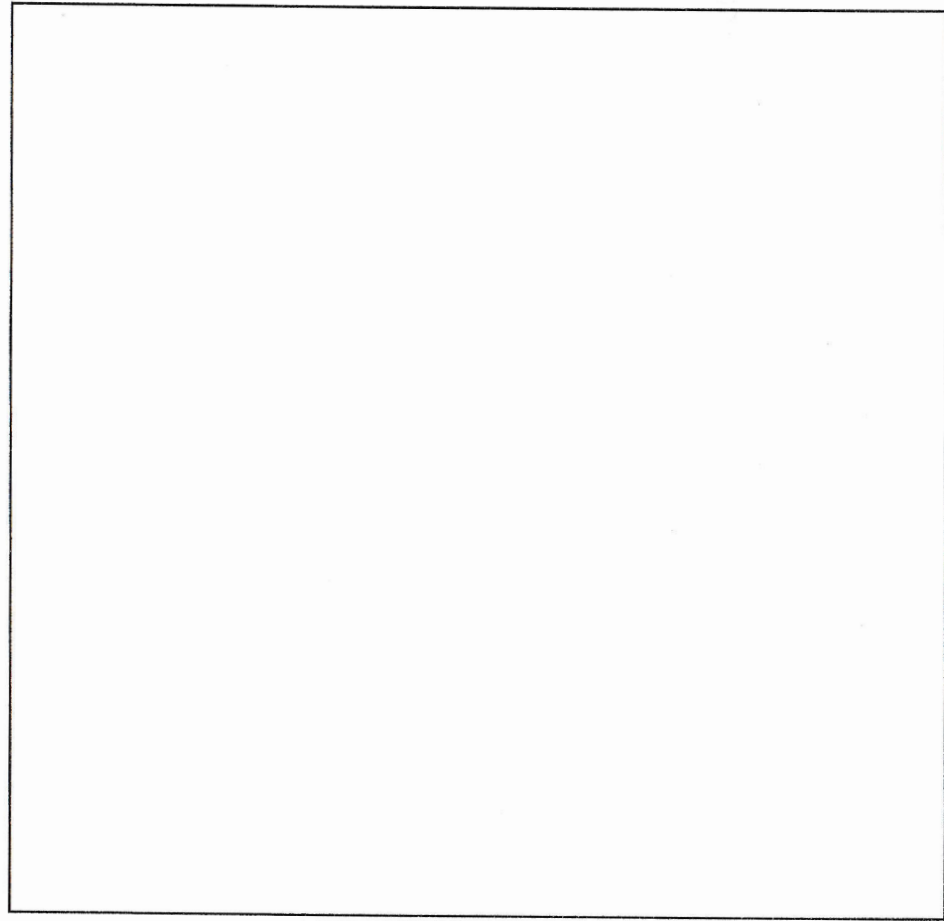


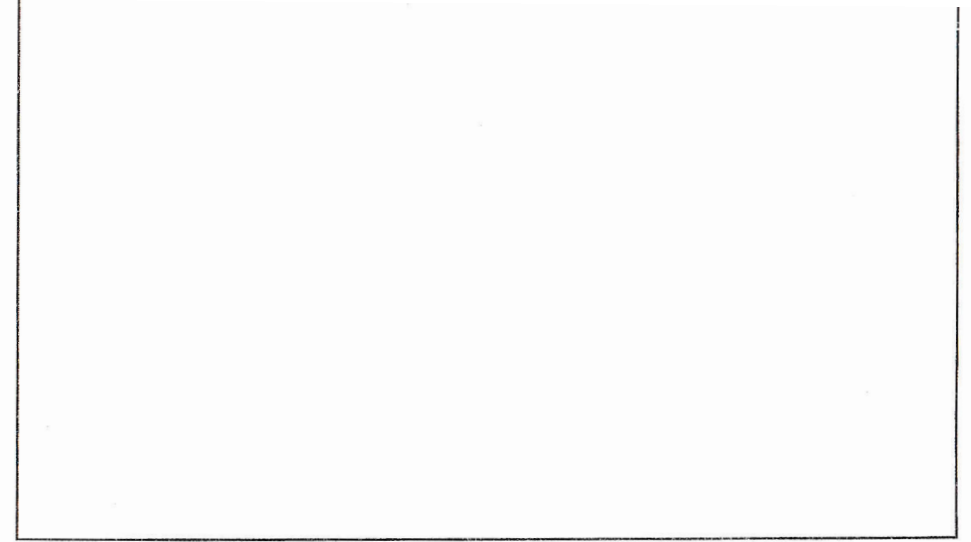
図2



答

cm

整理番号



答 AF : BC =

:

四角形 ABCD の面積の

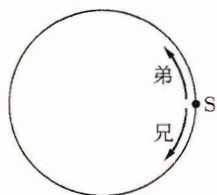
倍

小計

2025年度
算 数
(その2)

受験番号	
氏 名	

3 1周 1020 m の円形のコース上に地点 S があります。兄と弟は同時に地点 S を出発し、兄は時計まわりに、弟は反時計まわりに、それぞれコース上を移動します。兄は、1 周目は分速 165 m で移動し、2 周目は分速 132 m で移動します。このように、兄は 1 周するごとに分速 33 m ずつ速さを落とし、ちょうど 5 周したところで停止します。また、弟は分速 66 m で移動し続けます。以下の問いに答えなさい。



(1) 2 人が出発してから兄がちょうど 1 周するまでに、弟は何 m 移動しますか。

答 m

(2) 2 人が出発してから兄がちょうど 2 周するまでに、弟は何 m 移動しますか。

4 2 種類のコップ A, B があり、コップ A には濃さ 17% の食塩水が 50 g、コップ B には濃さ 3% の食塩水が 70 g それぞれ入っています。ただし、食塩水の濃さとは、食塩水の重さに対する食塩の重さの割合のことです。以下の問いに答えなさい。

(1) 食塩水が入ったコップ A, B をそれぞれ 2025 個ずつ用意します。このうち あ 個のコップ A と い 個のコップ B に入っている食塩水すべてを空の容器に入れて混ぜ合わせると、濃さ 7% の食塩水ができました。このような整数 あ と い の組は全部でいくつありますか。

答 組

答

m

(3) 2人が出発してから兄が停止するまでに、兄と弟は何回すれ違ちがいますか。

答

回

(2) 食塩水が入ったコップ A, B をそれぞれ 2025 個ずつ用意します。このうち 個のコップ A と 個のコップ B に入っている食塩水すべてを空の容器に入れて混ぜ合わせると、濃さ 7% の食塩水ができました。さらに、残っているコップ A のうち 個のコップ A に入っている食塩水すべてを容器に追加して混ぜ合わせると、濃さ 9% の食塩水ができました。このような整数 と と の組は全部でいくつありますか。

答

組

整理番号

小計

2025年度
算 数
(その3)

受験番号	
氏 名	

5 長さ1 cmの棒がたくさんあります。これらを組み合わせて、1辺1 cmの正六角形が並んだ図形を作ります。ただし、使うすべての棒はいずれかの正六角形の辺になっているものとします。また、1つの辺に2本以上の棒を使うことはありません。例えば、図1のように2個の正六角形が並んだ図形を作るには11本の棒を使います。以下の問いに答えなさい。

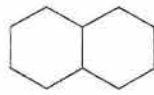


図1

(1) 図2には15個の正六角形が並んでいます。この図形を作るには、何本の棒を使いますか。

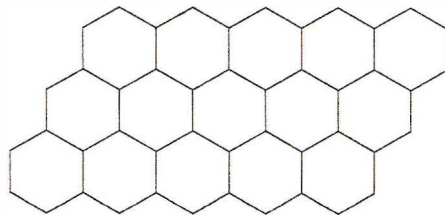


図2

答 本

(3) 図3のような図形を $\boxed{\text{イ}}$ 個の正六角形が並ぶように作り、図4のような図形を $\boxed{\text{ウ}}$ 個の正六角形が並ぶように作りました。このとき、図形を作るために使った棒の本数はどちらも同じでした。また、どちらの図形にも40個以上120個以下の正六角形が並びました。 $\boxed{\text{イ}}$ と $\boxed{\text{ウ}}$ にあてはまる数の組 $(\boxed{\text{イ}}, \boxed{\text{ウ}})$ として考えられるものをすべて答えなさい。ただし、解答らんはすべて使うとは限りません。

答 (\quad, \quad) (\quad, \quad)

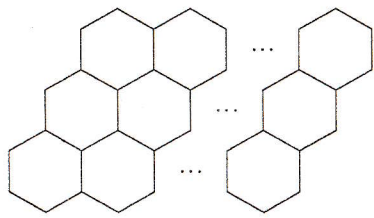


図3

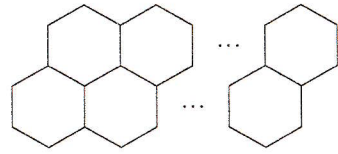


図4

(2) 2つの図形をどちらも ア 個の正六角形が並ぶように作ったところ、図4のような図形を作るために使った棒の本数は、図3のような図形を作るために使った棒の本数よりも100本多くなりました。 ア にあてはまる数を答えなさい。

(,)

(,)

(,)

(,)

答

整理番号

小計